

基本方針

副理事長 平原 昭祥

脈々と受け継がれてきた堺高石青年会議所の精神、昨年の創立60周年に掲げた長期運動指針のひとつづくり、まちづくり、組織づくりの3本の柱、そして明るい豊かな社会の実現。堺高石青年会議所のメンバーである我々が学び、活動し、継承していかなければならないことが数多くあります。その中でも、率先して行動することの必要性が問われています。そのために、私たち一人ひとりが地域のリーダーとしての活躍が望まれます。

まずは、メンバーの人間力を高めること、一人ひとりが自分自身と向き合い、自分自身の「心」の在り方を確認します。そして自らの可能性を創造し表現していきます。そもそも、生まれつきリーダーの素質を備えた人間などいるはずもありません。ダイヤモンドも原石はくすんだ石ころです。磨き続けてこそ輝きを放つのです。我々も自ら意識し、可能性を探し、組織で育てて初めて地域の活動を牽引できる人材へと成長します。そして一人ひとりが青年経済人としての責任を自覚し経済活動の中心で社会貢献していきます。

またメンバーの多くが家族を担い、子を持つ親です。明るい豊かな社会を将来に繋いでいくためにも親世代の責任を今一度見つめなおす必要があります。社会の最小単位である家族、この中で良き意識変革を行うことができれば、家族から地域に向けた意識変革の活動も可能です。夢を追い、誠実に生き、他人の喜びや悲しみを分かち合える子どもたちが育つためにも、私たちが一番大切にしている家族の幸せを感じて、家族の「心」にふれあい、家族愛を深めることで新しい意識の変革に挑戦いたします。

これまで経験してきた多くの教育事業で子どもたちと出会い、子どもたちの夢を聴き、その力強さに驚かされました。またJC運動の中で出会った多くの経済人の方々とお話しをさせていただくことで大人の力強さも知りました。その中には必ず、大きな背中を見せて見本となる大人や信じた道を突き進む勇気のあるリーダーの存在があります。我々がまずその一人になるのです。最後に我々堺高石青年会議所の大いなる可能性を信じ、勇気と希望と誇りを持ち力強く突き進んでまいります。